

卒業証書番号は学校の歴史と誇りを表す

イベント会場や見学施設などで『あなたは入場〇〇人目です。おめでとう。記念品として本館特製の□□を進呈いたします。』というメモリアルナンバーを記念するアトラクションがあります。記念品をいただいた当のご本人は自分の努力の結果とは全く無縁の受賞に若干とまどいながらも、それでも笑顔で『突然のことで驚いています。でもうれしいです。これからも時々訪れたいです。』などといった精一杯のコメントを言う姿を時々テレビなどで目にします。

さて、みなさんは卒業式に卒業証書をもらいますが、証書は君たちの手元へいってしまうので、学校にも君たちが本校を卒業したという証拠の書類を残さなくてはなりません。卒業証書授与原簿じゅよげんぼというものです。将来君たちが就職する時などに学校が発行する卒業証明書もとの基になる大事な帳簿です。(君たちに手渡される卒業証書そのものを就職面接等に証明書として使用することはありません)

そこで、卒業証書には一人一人に与えられた証書番号というものがあります。今年の卒業証書番号は8450番から始まります。ということは君たちには8449人の先輩がいるということです。自分の卒業証書番号にはこの先輩たちが築いてきた歴史の重さがつまっています。卒業式にはその重さをしっかり感じてください。同時に本校の卒業生である誇りをもって巣立ってください。

ところで、先日から卒業証書授与原簿を作成していますが、その中にメモリアルナンバーを発見しました。第8500号です。

『おめでとうございます。昭和36年4月に本校が創立されて以来、あなたが8500番目の卒業生です。記念品は特にありません。とにかくおめでとう。』

卒業生のどなたが第8500号かは3月14日に分かります。お楽しみに。